

修正型電気痙攣療法を受けられた患者さんの

検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 修正型電気痙攣療法中の降圧薬使用に与える因子の検討

[当院の研究責任者] 麻酔科 趙 成三

[研究の背景]

修正型電気痙攣療法では、副交感神経放電後の交感神経放電による高血圧、頻脈が生じるため、カルシウム拮抗薬や β 遮断薬が用いられることがある。

[研究の目的]

当院で行った修正型電気痙攣療法症例で、麻酔方法、患者併存症などの因子が、降圧薬使用の有無に与える影響について検討することで、将来の修正型電気痙攣療法患者の安全な麻酔管理に寄与する可能性がある。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2015年9月から2020年2月までに小倉医療センターで修正型電気痙攣療法(1クール8回以上)を受けられた患者さん

●研究期間：西暦2020年6月5日から西暦2020年12月31日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、服薬情報、麻酔方法、処置中のバイタルサイン

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者である麻酔科 趙 成三が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

麻酔科 趙 成三

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881